

# 公益社団法人松阪青年会議所

## 2021年度 基本運動方針

### 人財開発委員会

委員長 竹内 一馬

《委員会スローガン》

共感

《基本運動方針》

私たち青年会議所は、魅力ある人財を育成していかなくてはなりません。魅力ある人財とは、「目的に向かってひとを巻き込みながら牽引していける人財」です。ひとを巻き込めばそれは組織となり、組織を牽引していくためには、組織を構成する一人ひとりの「共感」を得る必要があります。そして、ひとの「共感」を得るためには組織における確たる理念が必要となり、さらに、その理念に基づいた組織の目的が設定されなければなりません。その理念、目的が共有されることで、牽引力はより強固なものとなります。また、ひとの「共感」を得、巻き込むためには他者をおもいやる気持ちが必要です。そのためには、まず自分を理解し、そのうえで他者を理解し、さらに他者のなかに存する自分という視点において、再度自分を見つめ直す必要があります。これは、他者と協同して活動に取り組むための下地となり、青少年期においてその大切さについて学んでおく必要があると考えます。

人財開発委員会では、本年度のスローガンを「共感」と定め、「共感」を切り口に3回の例会を構築します。具体的には、4月例会では、組織における理念及びその理念に基づく目的設定の大切さについて気づきを得ていただきます。さらに6月公開例会においては、青少年を対象に自己を理解し、他者を理解することの大切さを学んでいただき、他者をおもいやるころの土台を築いていただけるような例会を行います。また、10月公開例会では、社会人に対し、指導者として他者の「共感」を得、他者を巻き込みながら組織内でのリーダーシップを発揮し、理念、目的に基づき計画を策定し、失敗を恐れずそれに向かって行動できる人財を開発することを目的とした例会を開催します。

最後に、皆様が実社会においても、当委員会の例会での経験を活かしていただけたなら幸いです。また、会員拡大につきましても、委員会メンバー全員で取り組んでまいります。